

人生会議 (ACP: アドバンス・ケア・プランニング) を開きましょう

将来あなた自身が病気になったり、介護が必要になったときに備えてこれまで大切にしてきたことや、これから誰とどのように過ごしたいか希望する医療や介護のことなどについて、家族や大切な人、医療、介護関係者とともにあらかじめ考え、繰り返し話し合うプロセスのことを「人生会議 (ACP)」と言います。

中野区では、在宅医療・介護連携促進の一環として「人生会議 (ACP)」の普及に取り組み、ACP普及啓発小冊子「わたしの思い手帳」を配布しています。



リビング・ウィルは現在の意思表示であり
何度でも変更・撤回ができます。



ここに書かれた医療行為について
ご自分の病気の原因や病状などで考えていく
必要があります。
自分や家族だけで考えるのが
難しい場合は
医療関係者から
十分な説明を
受けてください。



作成に当たり **最も優先**
されるのは本人の意思
です。
作りたくない方は作る必要は
ありません。



医療者や家族、あなたをサポート
してくれる方とあなたの意思に
ついての **情報を共有し**
理解し合う ことが大切です。



厚生労働省の「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン」には「方針の決定は医療・ケアチームと十分な話し合いを行い、本人の意思決定を基本としたうえで進める」との記載があります。

「わたしの思い手帳」とともに
あなたの大切な人と
話をしてみませんか

人生の最終段階における 医療・ケアについての 生前の意思表示

これは現在の意思表示であり
何度でも変更・撤回ができます